

公益社団法人愛知県医師会 第22回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年10月24日(木) 午後2時30分～午後4時50分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一 城 義 政

加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 檜尾 富二 樋口 俊寛

伊藤富士子 瀨 瀨 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治

欠席者

稲坂 博 松尾 清一 大野 和美

議事録作成者 横地 宏和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

① 特定非営利活動法人 東海循環器病診連携フォーラム(理事長 平山治雄)主催の第14回市民公開講座〔11/4(月・祝)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(2) 一般社団法人愛知県歯科医師会(会長 渡邊正臣)主催の平成25年度口腔管理医療連携モデル事業普及啓発シンポジウム「がん患者を支える医科歯科連携～口腔ケアはがん治療の入口～」〔H26.3/2(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(3) 人事委員会〔10/31(木)〕開催について

市川理事より説明があり、理事会終了後の開催が承認された。

2. 広報委員会委員の変更について

吉田理事より説明があり、日本女医会愛知県支部の委員を木本昌子先生から村上京子先生へ変更することが承認された。

3. 第8回愛医総研意見交換会〔11/18(月)〕開催について

(愛知県医師会主催：501会議室)

伊藤(健)理事より説明があり、標記意見交換会の開催が承認された。

4. 日医生涯教育協力講座セミナー「家庭血圧測定の重要性～仮面高血圧の診療の実際～」〔11/30(土)〕開催について

(日本医師会・愛知県医師会・第一三共株式会社共催：ミッドランドホール)

城理事より説明があり、標記セミナーの開催が承認された。

5. 各種委員会・部会について

A) 精度管理(小)委員会〔10/28(月)〕開催について

(8階804会議室)

樫尾理事より説明があり、標記小委員会の開催が承認された。

—協議事項—

6. 平成25年9月発生の大雨洪水及び台風18号による被害会員への見舞金について

市川理事より説明があり、平成23年9月発生 of 台風15号の折には、床上浸水で診療不能な状況がある医療機関には5万円、その他の被害については診療の可否にかかわらず3万円を見舞金として支払ったので、今回も同様に床上・診療不可は50,000円(10件)、その他は30,000円(64件)で、総額242万円の見舞金支払いが承認された。

柵木会長より、現在、災害見舞金としての基金があり、そこから見舞金を捻出しているが、今後は見舞金支払いの基準等について検討する余地があると発言された。

7. その他

・台風27号への対応について

市川理事より、10月25日(金)、26日(土)に開催される本会主催の講習会・委員会等について、暴風警報が発令された場合は中止するなど対応をして頂くよう要請があった。

樫尾理事より、医療事務員講習会は25日(金)10時時点で警報が発令されたらFAXにて中止を受講者へ通知する、伊藤(健)理事より、ジェネラルマインド医師養成セミナーは26日(土)開催だが、講師が遠方よりみえるので25日(金)の午後までに中止の判断を行う、城理事より、生涯教育講座は共催する医会の判

断で行うことになる」と発言された。

市川理事より、生涯教育講座について、警報が発令されたら共催する医会には中止要請をするよう依頼された。

—報告事項—

1. 支払基金幹事会〔10/16(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

伊藤副会長より、規制改革会議の動向に関連した支払基金に関する項目について、保険者による直接審査の推進について、レセプトデータの利活用による医療のコントロールについて、支払基金と国保連の役割について、支払基金の役割についての広報活動のスケジュールについて話し合いが行われたと報告された。

2. 第7回母体保護法等に関する検討委員会〔10/9(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

可世木理事より、12月に開催する「家族計画・母体保護法指導者講習会」で発表される、母体保護法指定医師研修会のカリキュラム内容について検討した。また、各都道府県で行われる研修会の指導モデルが示され、これは指定医師の更新に当たっての必須受講内容になると報告された。

3. 愛知県医師会倫理委員会審査報告について

伊藤(健)理事より、愛医総研から「地震動による人の心理学的・生理学的影響」に関わる実験」の申請があったため倫理委員会に諮り、持ち回り決裁にて審議し、審査の結果、全員一致で承認されたため、申請者に報告したと報告された。

4. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第6回運営委員会〔10/9(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務室)

城理事より、平成25年度「統合医療」に関わる情報発信等推進事業委託費実施団体募集に応募することを決定した。特定健診OCR用紙処理は、前年比105%で推移しており、本年度は、24~25万件になる見込み。メディカルフュージョン(株)が本年10月から来年3月までに8回にわたり行う臨床研究コーディネーター養成セミナーにNPOあいちが協力すると報告された。

市川理事より、平成25年度「統合医療」に関わる情報発信等推進事業委託費実施団体募集について質問され、城理事より、健康補助食品の倫理委員会を行っているのでその関係で応募すると回答された。

柵木会長より、NPOあいちが現在進めている健康保険組合の立ち上げについて、ある程度方向性が出たら本会理事会等にて説明を聞く機会を設けるよう依頼があり、その時期については横井副会長、城理事に一任された。

5. 平成25年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回事例検討会センター開設10周年記念ケース・スタディ〔10/12(土)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

大輪理事より、4つのケースにてフリートークを行い、講師・役員を含め195名の

参加者があったと報告された。

柵木会長より、医師会の自浄作用について発言され、横井副会長、可世木理事、市川理事、伊藤（健）理事、加藤理事、樫尾理事がそれぞれ意見を発言された。

6. 第35回産業保健活動推進全国会議〔10/10(木)〕について

(厚生労働省、日本医師会、労働者健康福祉機構、産業医学振興財団主催：

日本医師会館大講堂)

西山理事より、産業保健3事業の一括運営について主に協議され、徳島県が平成22年度より行っている産業保健3事業連携のメリットと課題、厚生労働省の考える産業保健3事業一元化の方向性、日医産業保健委員会報告では、3事業一括運営、厚生労働省への要望について報告があったと報告された。

山本副会長より、元々地域産業保健センターは労働基準監督署管内毎に設置されていたものを県医師会が集約した。産業保健推進センターは50人以上の事業所、地域産業保健センターは50人以下が対象。推進センターも47箇所から15箇所に縮小されたが、以前のように地域産業保健センターの充実を図るべきであると発言された。

7. 各種委員会・部会について

A) 社会福祉専門委員会〔10/15(火)〕について

(6階研修室)

樋口理事より、保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウムについて、講師の演題とシンポジストの報告を行った。来年に開催予定の医療従事者向け研修事業と、県下医師会介護保険・障害者総合支援担当理事連絡協議会について協議したと報告された。

柵木会長より、在宅医療連携拠点推進事業について、地区医師会からの問い合わせがあった際は、説明して頂くよう役員へ依頼された。

B) 調査室委員会〔10/23(水)〕について

(5階医師連盟会議室)

加藤理事より、東京新聞(9月27日朝刊24、25面)に掲載された『こちら特報部』-国民皆保険が形骸化安倍政権の社会保障改革-の「保険診療でできるものをあえて自由診療にする医師がこれからでてくるのか」について、また、メディアファクスに掲載された総合診療医について検討したと報告された。

8. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年10月24日